

平成30年12月18日

保護者の皆様

札幌市立石山南小学校
校長 三木 直輝

平成30年度 全国学力テスト・学力状況調査の結果について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に対しまして御理解、御協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、4月に6年生を対象に行われました全国・学力学習状況調査について、国や札幌市からの情報提供を受け、本校の学力と学習状況についての分析を行いました。その中で、本校の課題や改善の方法についてまとめましたので、お知らせいたします。

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査について

肯定的な回答が多かったもの(本校の児童の良さ)

◎全国平均より意識が高い	今後の手立て
◎ 自分にはよいところがあると思う	本校の児童は、日常の学習や生活の中で、自ら目標をもち、失敗を恐れないで新たなことに挑戦する姿があります。そして教職員が児童のよさを見取り、励ましてまいりました。今後も友達のよさや頑張りを認め合い励まし合いながら、学習や行事、日常生活で高め合っていけるよう指導してまいります。 家庭学習が定着するよう「家庭学習のススメ」を全校に配付し取り組みました。今後も優秀ノートの掲示や家庭学習 100 日、200 日達成表彰などを通し、自分にとって必要で興味のある学習を積極的に行えるよう指導してまいります。御家庭のお力添えをお願いいたします。
◎ 先生はあなたの良いところを認めてくれていると思う	
◎ 人の役に立つ人間になりたいと思う	
◎ 家で自分で計画を立てて勉強している	
◎ 家で学校の授業の予習・復習をしている	
◎ 算数の勉強は好きである	
◎ 算数の勉強は大切だと思う	

肯定的な回答の少なかったもの・課題のある回答が多かったもの(本校の児童の課題)

▼全国平均より意識が低い	今後の手立て
▼学校のきまりを守っていますか	きまりを守ることを実感していくような日常での指導に加え、道徳の学習などを通して学んだことを生活に生かし実践できるよう指導してまいります。 家庭学習への取組では計画的に学習を行うよさはありますが、時間的にまだ十分とはいえません。ただ友達と遊ぶ時間が多く充実した時間を過ごしているようなので、取り組む内容や時間帯の工夫を指導していきます。御家庭でも御協力をお願いします。
▼一日当たりどれくらいの時間、勉強しますか	
▼一日当たりどれくらいの時間、読書をしますか	

小学校国語

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題

「話すこと・聞くこと」

△全国平均を上回っている

「書くこと」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

「読むこと」

△全国平均を上回っている

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

主として「活用」に関する問題

「話すこと・聞くこと」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

「書くこと」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

「読むこと」

△全国平均を上回っている

今回の調査における課題

➤相手や場面に応じて適切に敬語を使う。

➤学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

➤目的や意図に応じて文章全体の構成を考える。

➤目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。

改善の方向

➤学校行事についての案内をする手紙、地域での体験学習の指導を依頼する手紙などの活動を設定し、相手を想定して伝え方を工夫する中で適切な敬語を習得する指導を充実させる。また、低学年のうちから意図的・計画的に行う。

➤授業の中で、ノート書き方を指導し、習った漢字を意識した板書の工夫をする。家庭学習では漢字を単体で練習するのではなく、文の中で正しく使う活動を充実させる。

➤自分の考えを明確に伝えるために、文章のまとめりごとに、どのようなことを書けばよいかを考えることで、自分の考えが一貫できるように指導する。

➤書く目的を明確にして、どのように伝えていくか内容を明確にする工夫をする。更に国語以外の教科でも書く指導を重点的に行うことで、目的や意図を明確にした文章を書けるように指導する。

小学校算数

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題

「数と計算」

◆全国平均とほぼ同程度だがやや下回っている

「量と測定」

▼全国平均を下回っている

「図形」

△全国平均を上回っている

「数量関係」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

主として「活用」に関する問題

「数と計算」

◇全国平均とほぼ同程度だがやや上回っている

「量と測定」

◇全国平均とほぼ同程度だがやや上回っている

「図形」

△全国平均を上回っている。

「数量関係」

△全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

➤ 1に当たる大きさを求める問題で、除数が小数である場合でも除数を用いることを理解している。

➤ 小数の除法の意味について理解している。

➤ 異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している。

➤ 180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めることができる。

➤ 折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断することができる。

改善の方向

➤ 問題をよく読み、それを図や数直線などに表すことで、数量の関係を的確にとらえる場面の充実を図る。また、演算決定の根拠や見積もりを図や数直線等とつなげて自分の言葉で説明する指導を充実させる。

➤ 混み具合は、比べるときにどちらかをそろえることの意味を的確にとらえさせることで、公倍数や単位量当たりの大きさでの比べ方を理解できるよう指導する。また、変わったことと変わらないことに着目して友達に説明できることを重視する。

➤ 図形の学習では知識として図形の性質を指導するのではなく、道具に慣れ、図形を測ったり描いたりする活動、図形の性質を用いて作図するという体験的な活動を通すことで理解を深める。

➤ 日常生活の問題を解決するときにも、情報を積極的に表や式、グラフに表すことで、事象の規則性を見出し、表現する場の充実を図る。

本校の概要

【区分】

主として「A」に関する問題

「物質」

△全国平均を上回っている

「エネルギー」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている

主として「B」に関する問題

「生命」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

「地球」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている

今回の調査における課題

➤安全に留意し生物を愛護する態度をもって野鳥のひなを観察できる方法を構想できる。

➤土地の浸食について予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる。

➤太陽の1日の位置の変化による光の入る方向を考え、光電池を使ったものづくりに生かすことができる。

➤物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水にも適用できる。

➤実験結果からいえることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる。

改善の方向

➤生き物の命を大切にするという観点から、観察対象への影響を最小限にし、邪魔にならない観察の仕方を指導する。また、自分自身の安全にも配慮できるような活動を作り出す。

➤問題に対する自分の予想をはっきりさせ、それを検証するための実験を考える。その上で方法や見通しを児童同士で検討し、観察実験に取り組む。

➤学んだことをものづくりという形で使ってみることで、より深い理解に至るよう学習展開を工夫する。

➤理科の学びの中で、既習の内容や生活経験と関連付けて考え深めていくことを重視する。

➤実験結果をもとに、自分達の予想は確かなことなのかを他者と一緒に検討し、自分の考えを見直す過程を重視する。

石山南小学校の子どもたちの良いところをこれからも大切にしていきたいと思います。また、学校生活の時間の80%以上が授業時間であることから、授業を大切にし、子どもたちが生き生きと学べるよう、課題の解決に向け手立てを考えていきます。残り少ない石山南小学校での日々を、充実した毎日になるよう教職員一同力を合わせてまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。